------7月28日------

※ 今週のアウトルック（7/28～8/1）

先週は円高というより、ドル高が顕著化してきたようです。
特に対ユーロ、対ポンドでは、その傾向が強いようです。
地政学的リスクやドイツの経済指標の弱さなどが、主な要因のようですが、
欧州と米国の今後の景気見通しが、しばらく注目されるかもしれません。
今週は米国雇用統計などの発表を控えているため、突発的に大きく動くことも
予想されますが、発表後にドル高センチメントがより拡大する可能性も、
十分考えられるように思います。

先週のドル円は週初、101.2円付近からのリバウンドにより、
102円目前まで、ドル高が進んでいます。
今週は、米国雇用統計の発表を控えているため、週初は小動きな展開が
予想されますが、予想以上の好結果が出た場合には、102.2円を超えてドル高が
進む可能性も十分考えられるように思います。

米ドル円の予想レンジは101.5円から102.8円です。

ユーロは、地政学的リスクやドイツの経済指標の弱さなどから、ユーロドルが1.35を
大きく割り込んで、ユーロ安が進んでいます。
今週にも1.335付近まで、ユーロ安が進む可能性もあるかもしれません。
ユーロ円も136円を割ってしまった場合には、本格的なユーロ安トレンドに
入ってしまう可能性も否定できないように思います。

ユーロ円の予想レンジは135円から138円です。

ポンドは、ポンドドルが1.7を割ってしまったことから、一度下落トレンド入り
してしまう可能性が、いささか高くなったように思います。
1.69を完全に割り込んでしまった場合は、要注意です。

ポンド円の予想レンジは171.5円から174円です。

今週は米国雇用統計の発表を控え、結果次第では、ドル高、ユーロ、ポンド安が
本格化してしまう可能性もありそうです。

＊免責事項＊
当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。